



株式会社 ムロコーポレーション

2026年3月期 決算説明会

2026年6月17日

東京証券取引所（スタンダード市場）

<https://www.muro.co.jp>

I . 2026年3月期 決算概況

II . 2027年3月期の見通しと今後の戦略

I . 2026年3月期 決算概況

1. 日系自動車メーカー生産・販売台数状況

注) 一般社団法人日本自動車工業会 統計データより

	万台	前年同期比		万台	前年同期比
国内生産	847	+0.1%	海外生産**	1,635	▲0.7%
国内販売	453	▲0.92%	**2025年1月～12月累計 (2026.6.3時点) ***万台未満切捨		
輸出	417	▲1.57%			

*2025年4月～2026年3月累計 (2026.6.3時点) ***万台未満切捨

2. 当社事業の売上状況

- 金属関連部品事業
中国・東南アジア市場での日系メーカーの苦戦や半導体供給問題等もあったが、前年までの認証問題の影響も落ちつき、増加した。
- 樹脂関連部品事業
金型売上と新規客先への樹脂成形品売上の増加により、増加した。
- その他事業
国内はスチールハウス市場の物件増加と建築市場の新規販売により増加したが、海外は市場低迷と米国の関税政策の影響から減少し、全体として減少した。

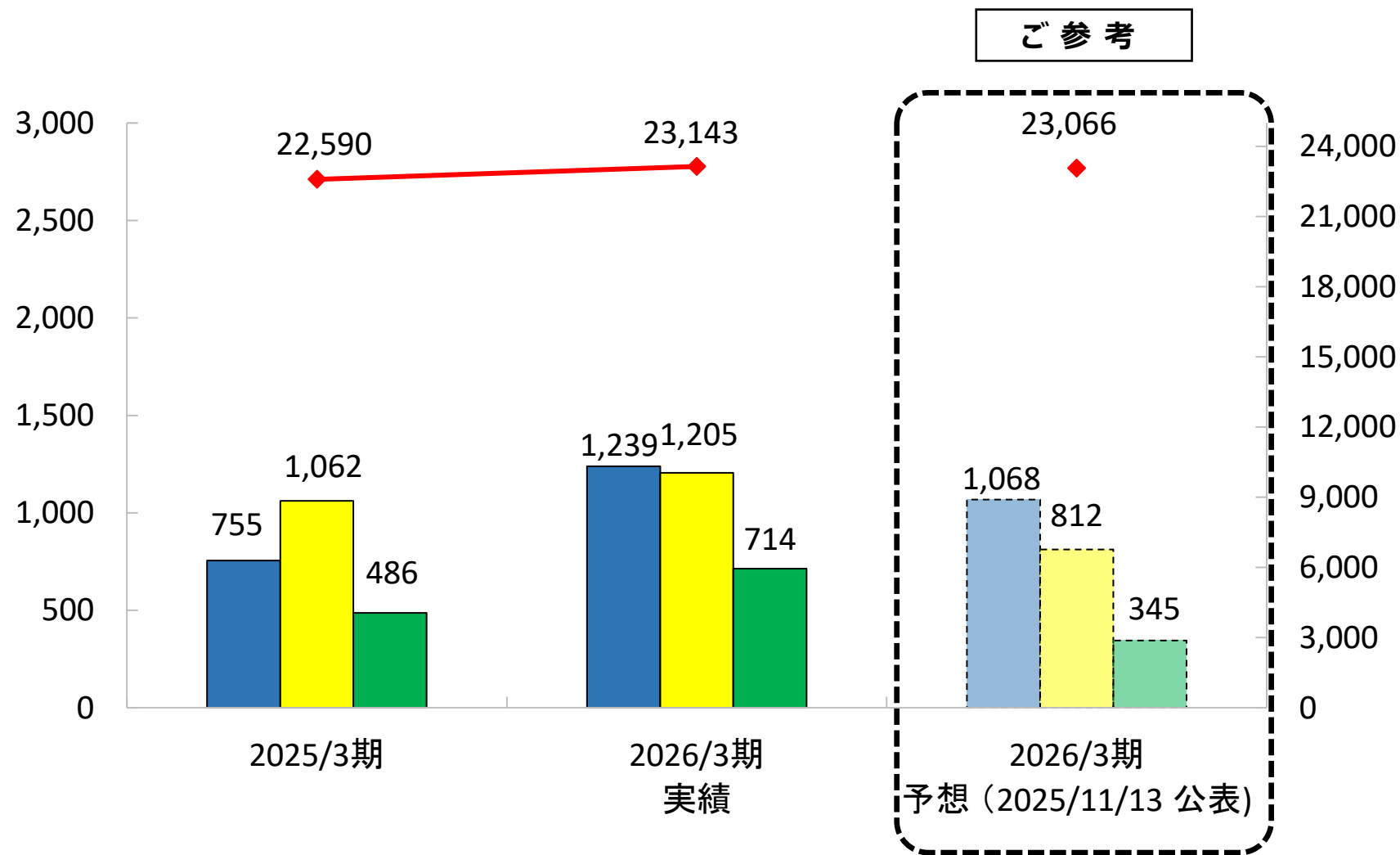
3. 連結業績

項目	金額	前年同期比
売上高	23,143百万円	+2.5%
営業利益	1,239百万円	+64.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	714百万円	+46.9%

売上高・利益の推移

連結

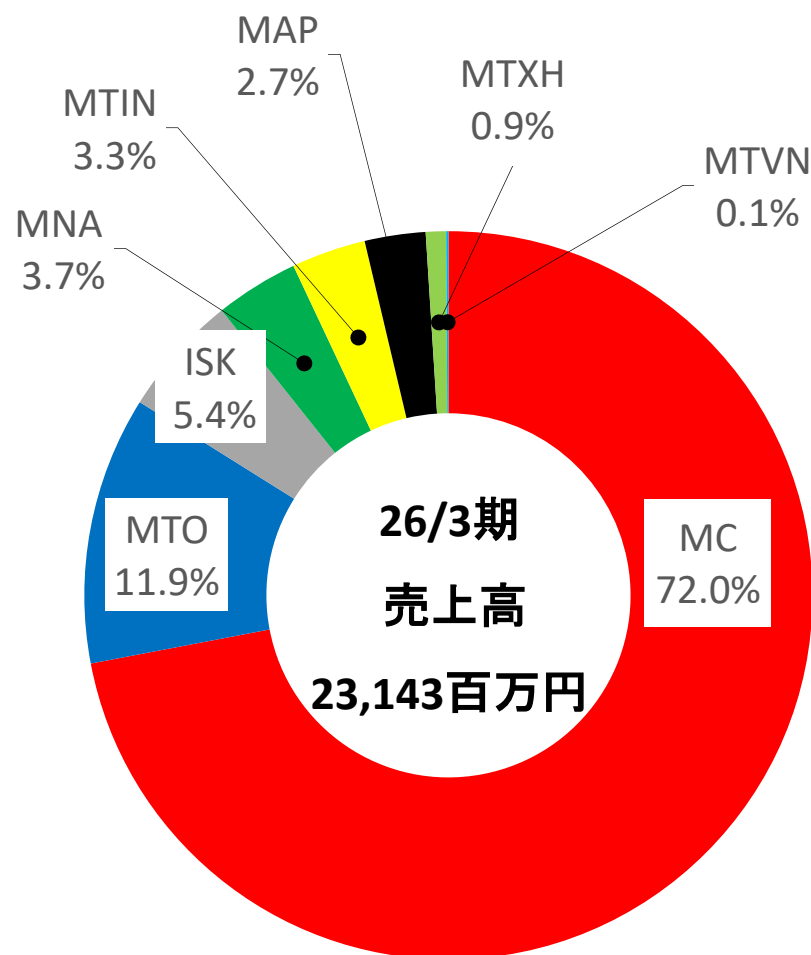
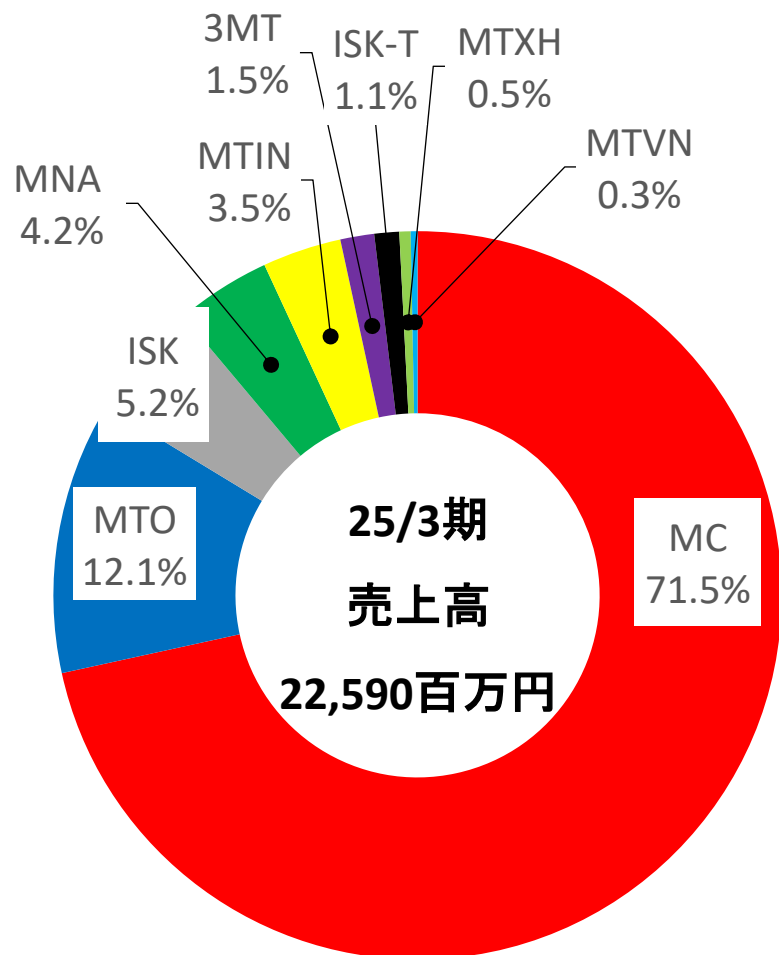
利益(百万円) ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ *当期純利益 ◆ 売上高 売上高(百万円)
*親会社株主に帰属する



*百万円未満切捨

グループ会社の売上比率

連結



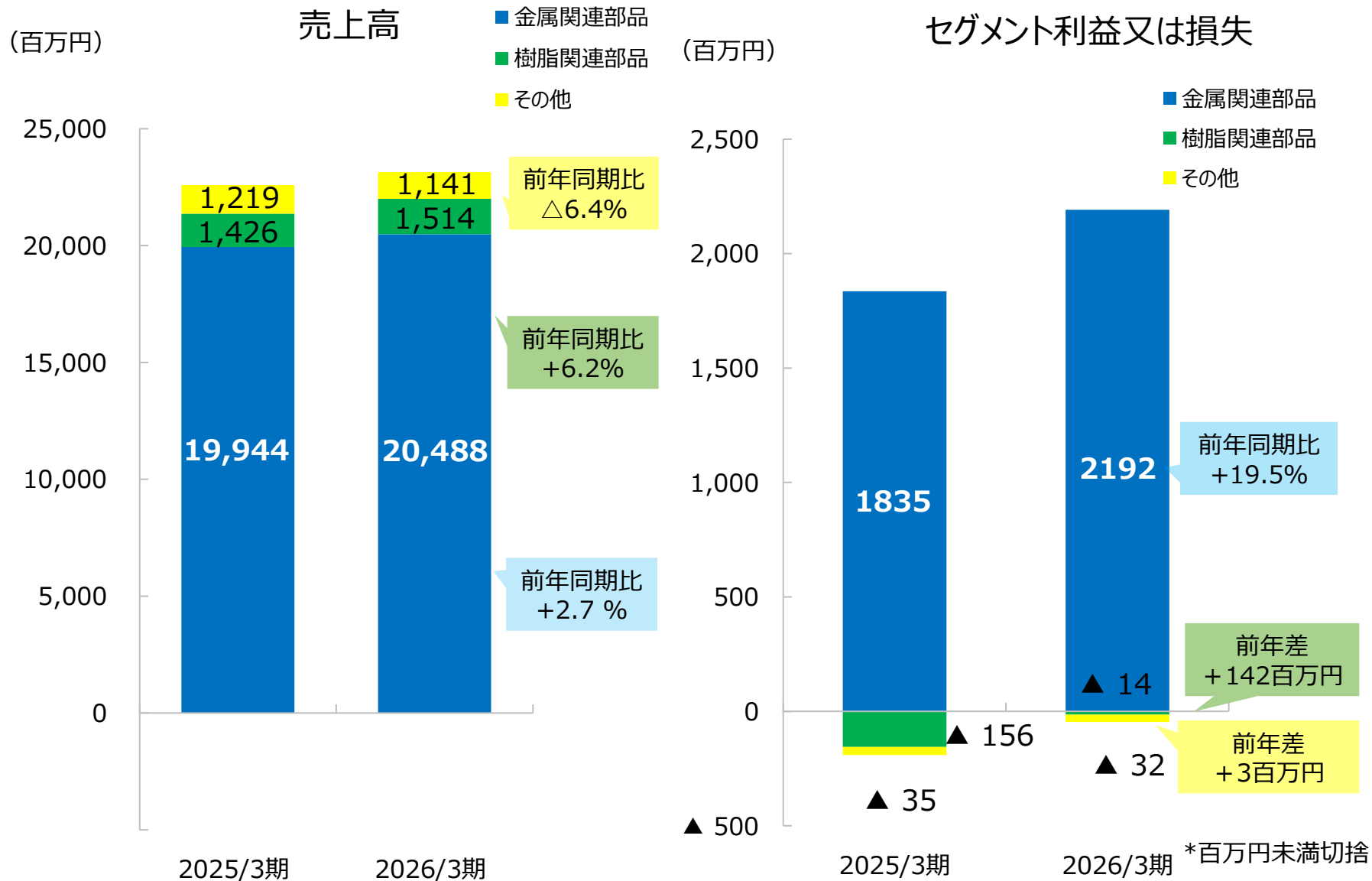
*MC/ISK（日本）、MTO(北米)、MNA(カナダ)、MTIN(インドネシア)、MTVN(ベトナム)、ISK-T(タイ)、3MT(タイ)、***MAP(タイ)、MTXH(中国)

** 上記グラフは内部取引消去後の売上比率を表示しています。

*** ISK-Tと3MTは、2024年に連結子会社間における吸収合併によりMAPになりました。

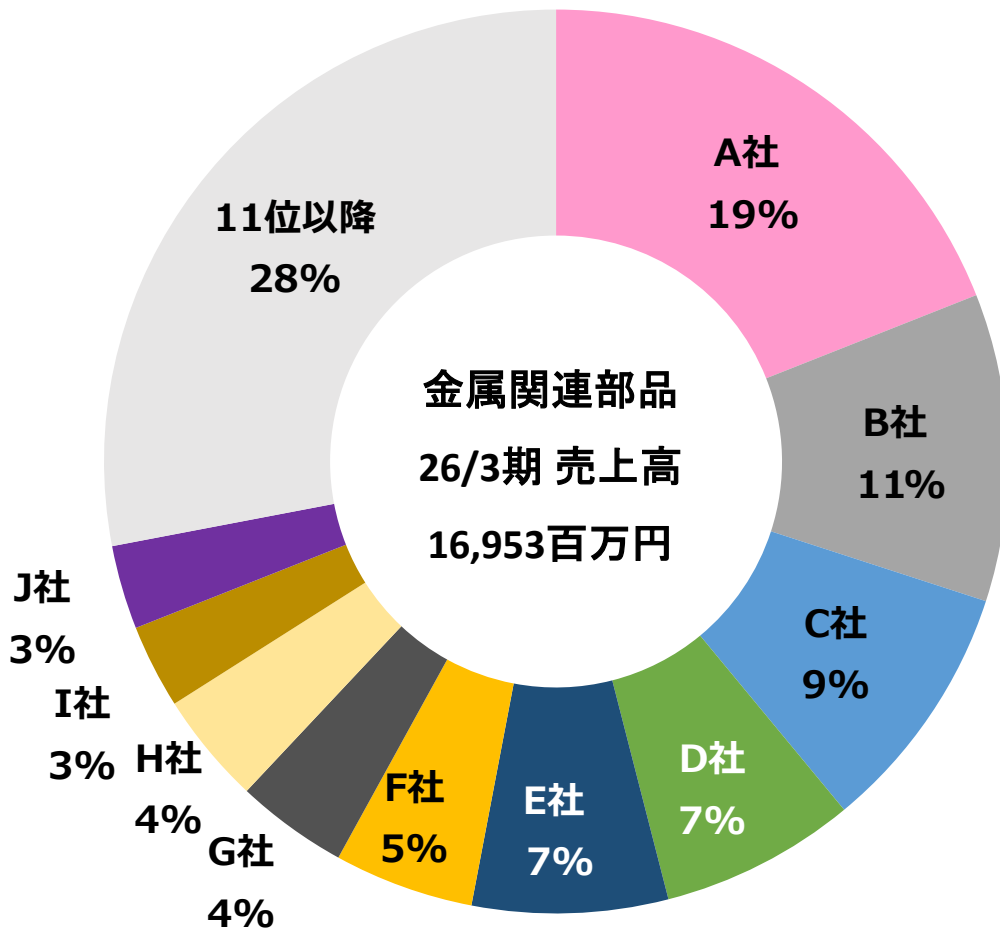
報告セグメントごとの売上高、利益又は損失

連結

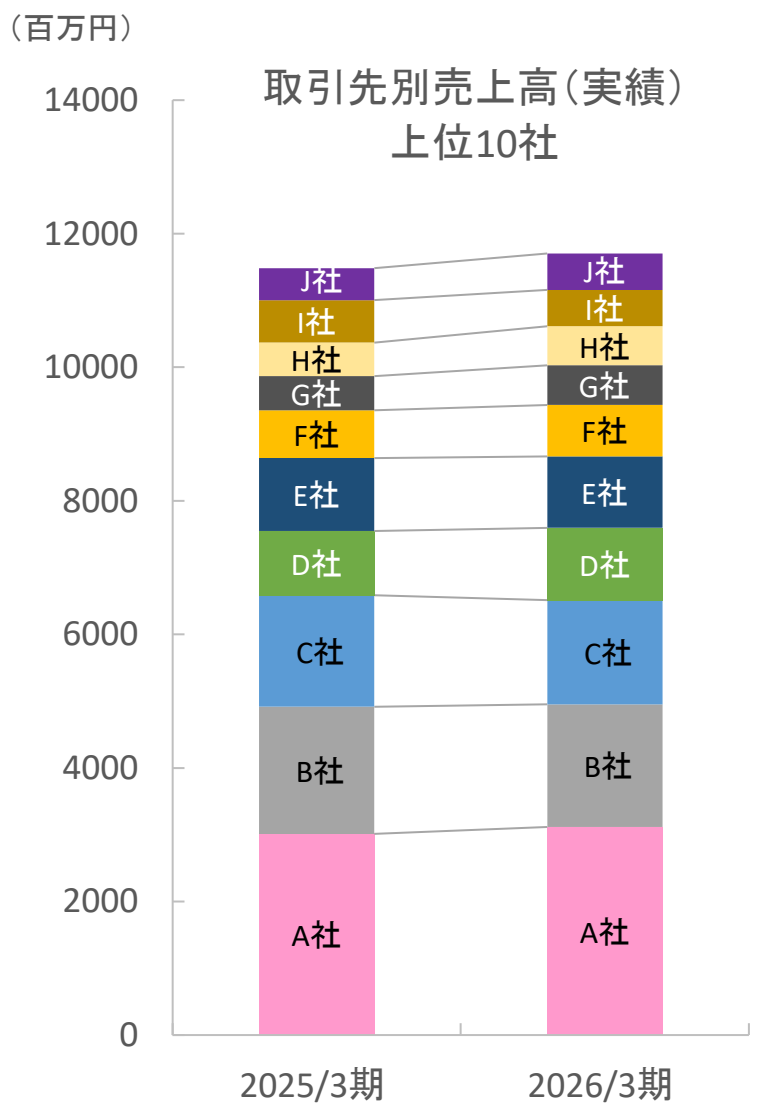


金属関連部品 取引先別売上高

単体

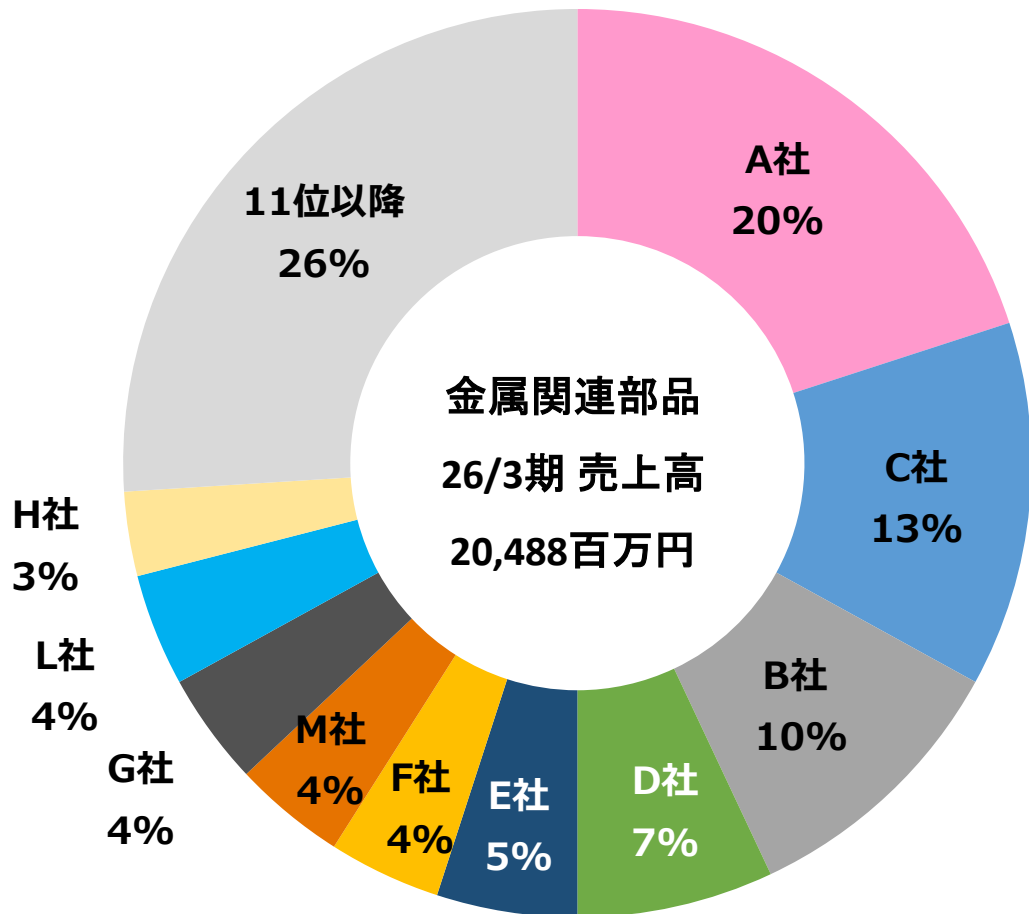


※前年同期実績 : 16,693百万円



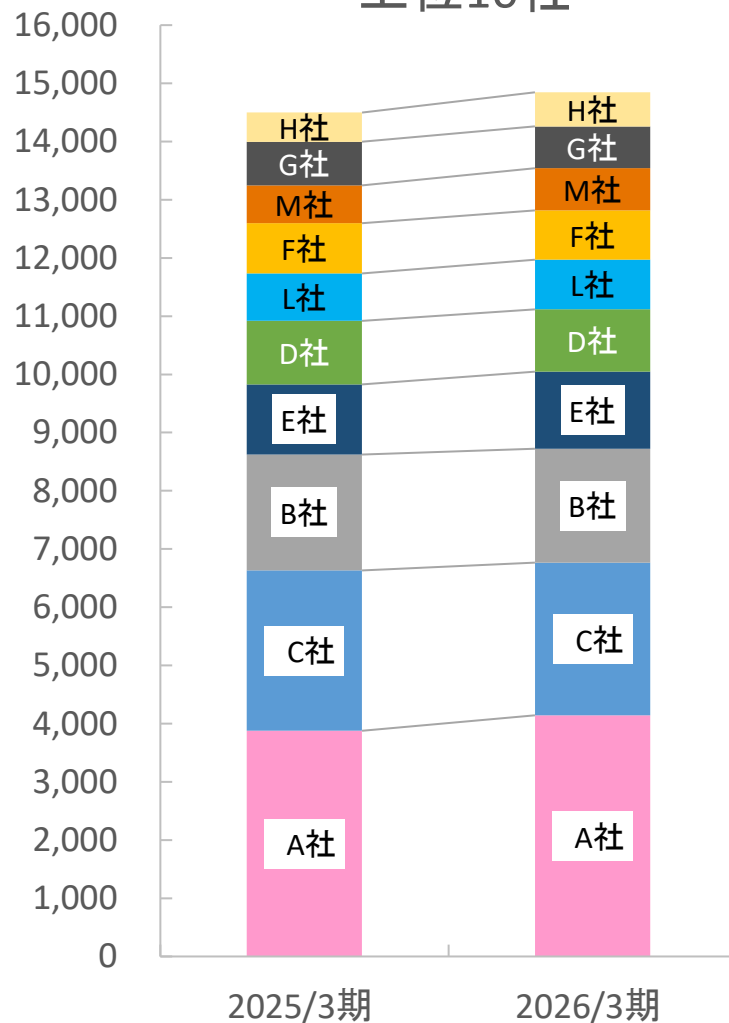
金属関連部品 取引先別売上高

連結



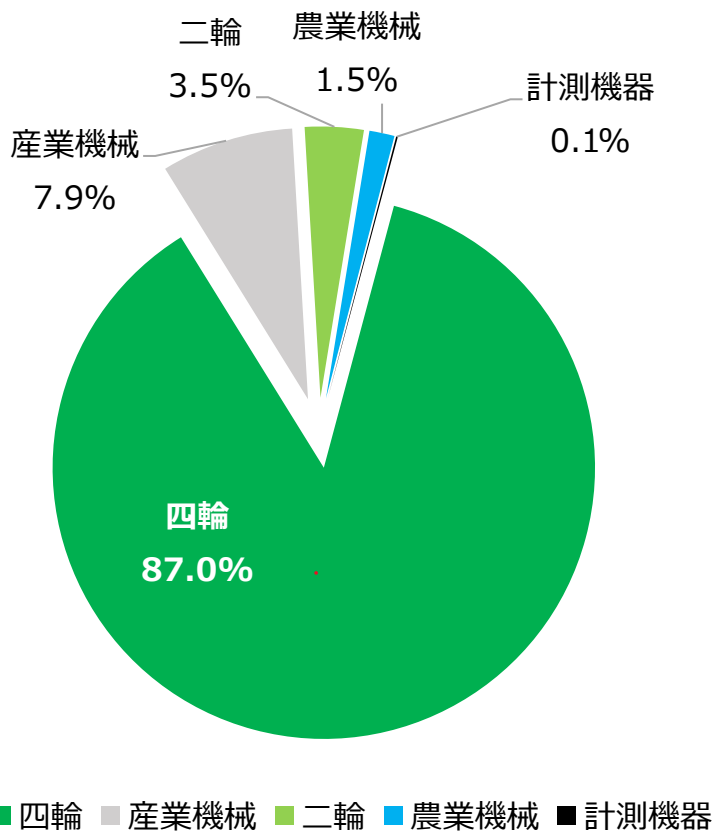
※前年同期実績 : 19,944百万円

取引先別売上高(実績)
上位10社

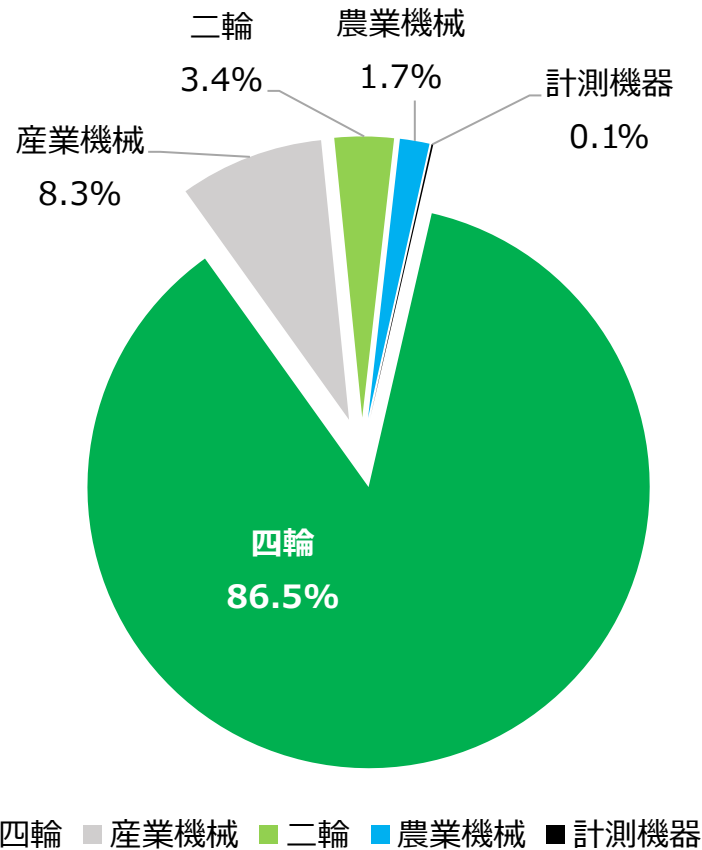


金属関連部品事業 セグメント別売上比率

単体



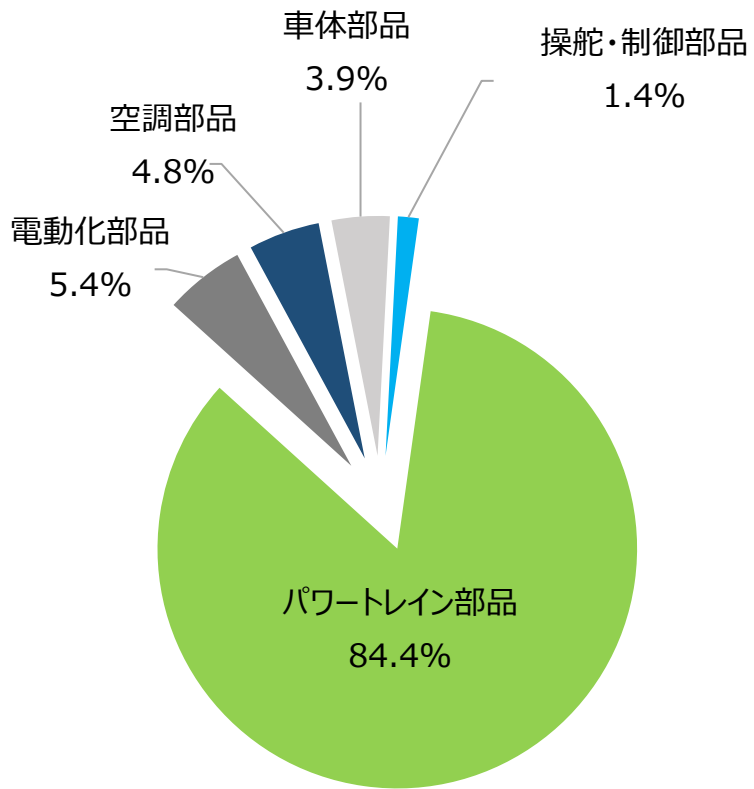
2025/3期



2026/3期

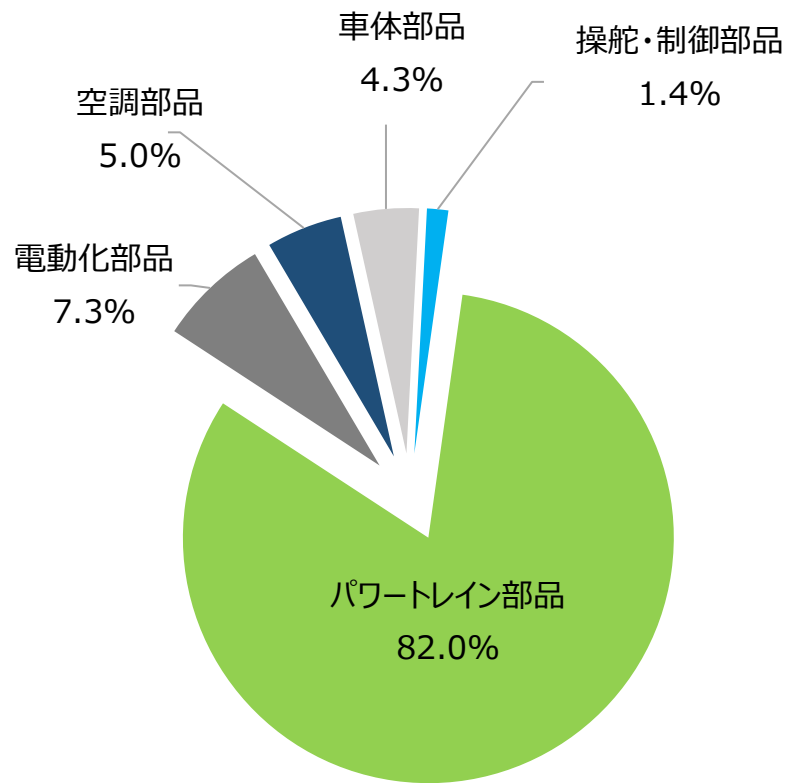
金属関連部品事業 四輪売上内訳比率

単体



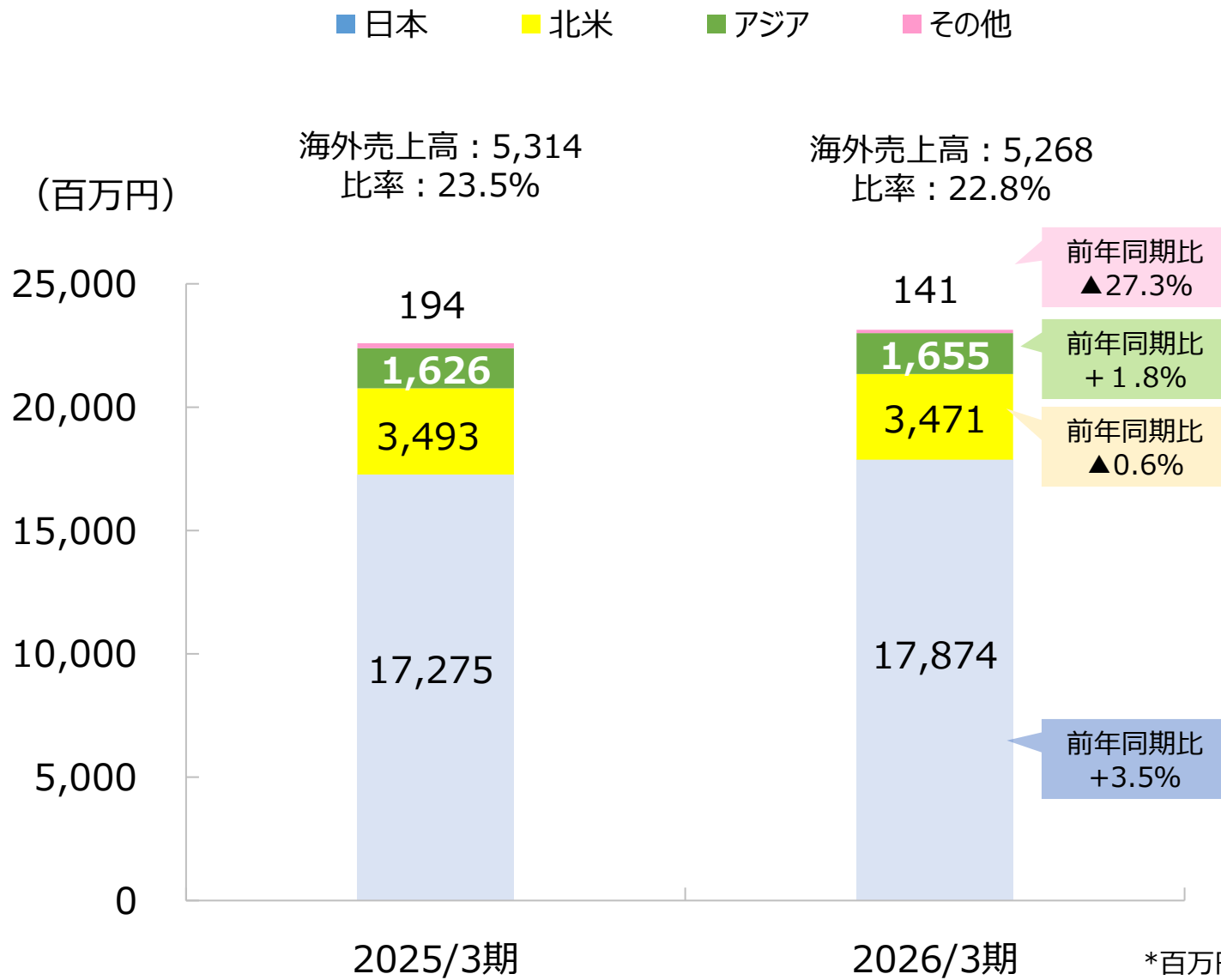
- パワートレイン部品
- 電動化部品
- 空調部品
- 車体部品
- 操舵・制御部品

2025/3期



- パワートレイン部品
- 電動化部品
- 空調部品
- 車体部品
- 操舵・制御部品

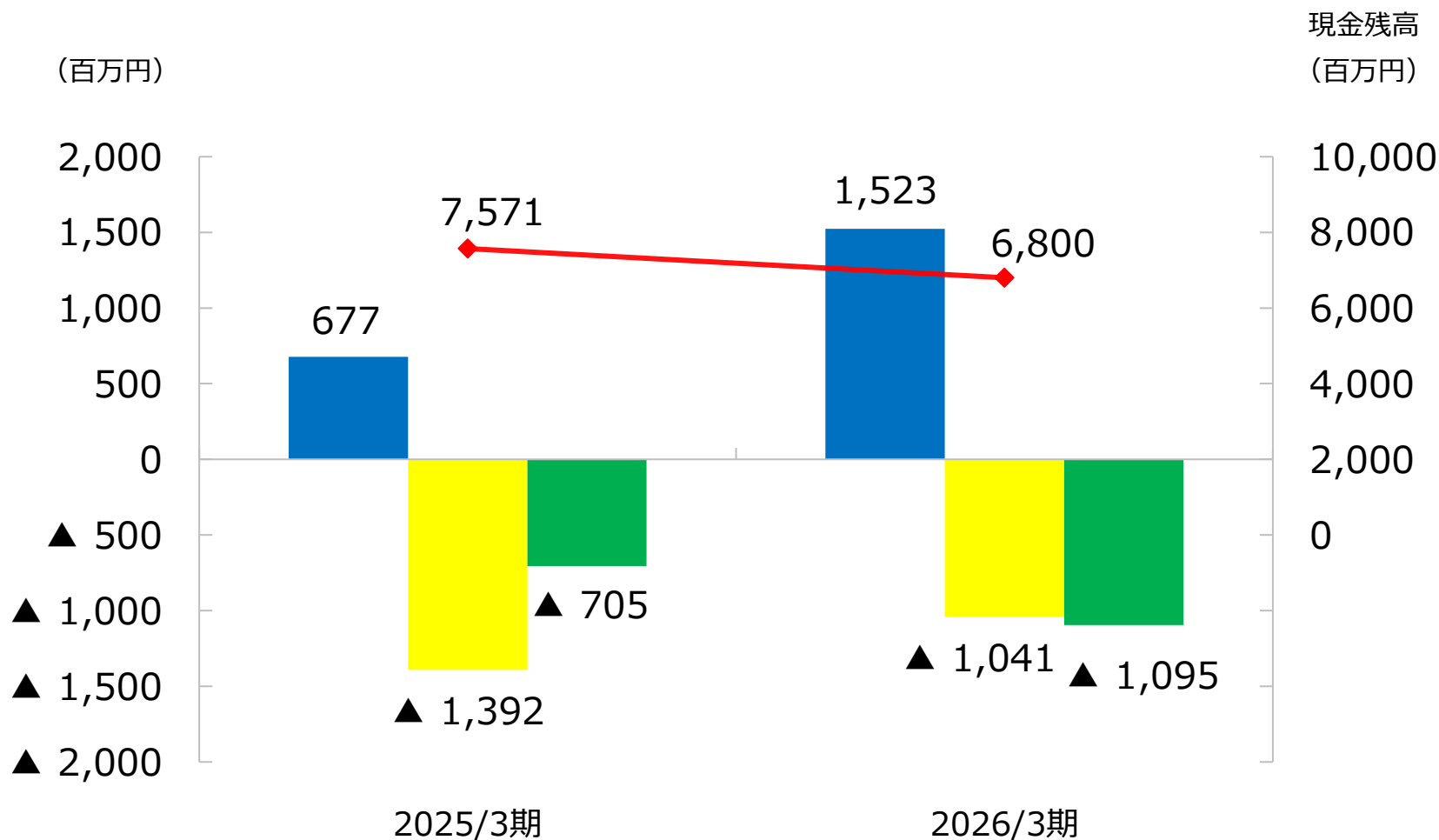
2026/3期



キャッシュ・フロー

連結

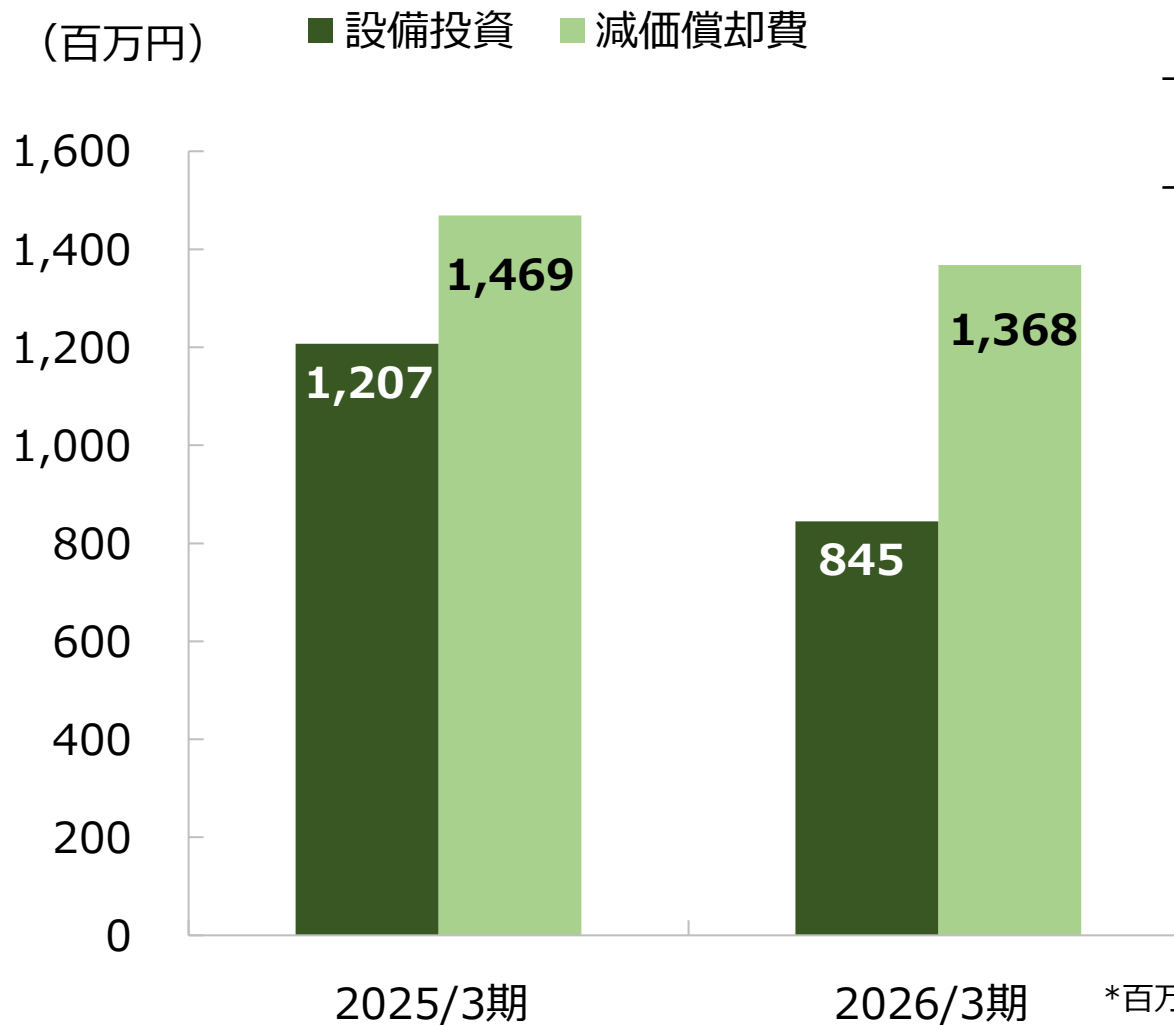
■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ 現金残高



*百万円未満切捨

設備投資・償却費

連結



設備投資の主な内訳

区分	金額 (百万円)
機械装置	290
金型・工具・器具	206
建物	83
建設仮勘定	140

Ⅱ． 2027年3月期の見通しと 今後の戦略

自動車業界の動向

自動車業界は、2027年3月期においても不透明な事業環境が続く見通しです。2025年暦年の日系自動車メーカーの全世界生産台数は24,827千台（前年比0.5%減）と減少しており、国内生産はほぼ横ばいの状態です。原材料価格やエネルギーコスト等の高騰が継続するなか、イラン情勢悪化に伴うサプライチェーンの混乱や歴史的な円安の長期化など、厳しい事業環境が続いています。EV化の勢いは足下では鈍化しているものの長期的には確実に進むと見られ、電動車向け製品分野への対応強化が重要な課題です。

連結業績予想

項目	金額	前年比
売上高	24,139百万円	+4.3%
営業利益	1,660百万円	+33.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,212百万円	+69.7%

今後の経済環境につきましては、地政学リスクの継続、各国における通商政策の動向、為替変動等により、依然として不透明な状況が続くものと思われまます。当社グループは、生産性向上、原価低減、および成長分野への注力を通じて収益力の強化を図って参ります。

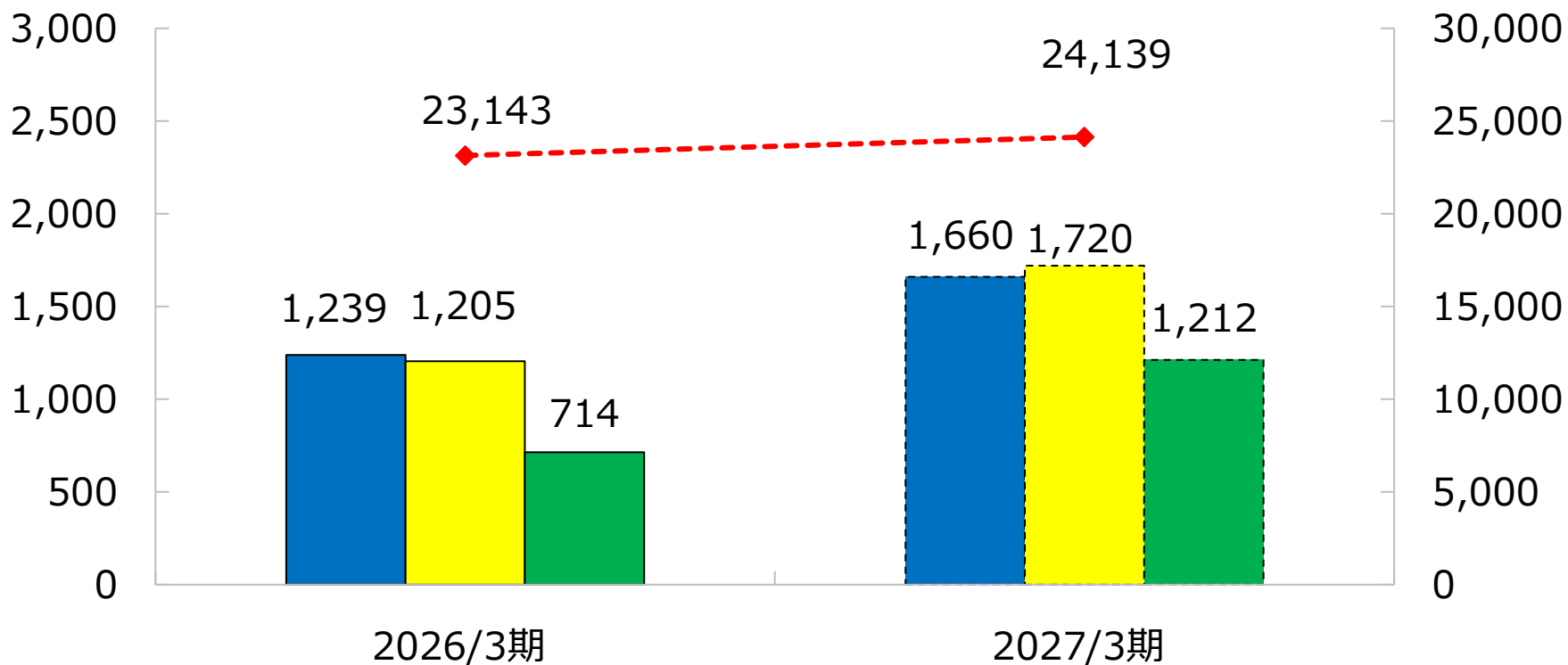
2027/3期の売上高・利益予測

連結

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ *当期純利益 ◆ 売上高
*親会社株主に帰属する

利益（百万円）

売上高（百万円）



*百万円未満切捨

目標

- ◆ 成長に向けた積極投資と経営基盤の強化
- ◆ 営業利益率5.0%以上を確保し、持続的な成長を目指す
- ◆ 新市場・新製品の創出により、売上拡大を推進
- ◆ グループ各社の収益安定化を図り、グループ総合力を強化

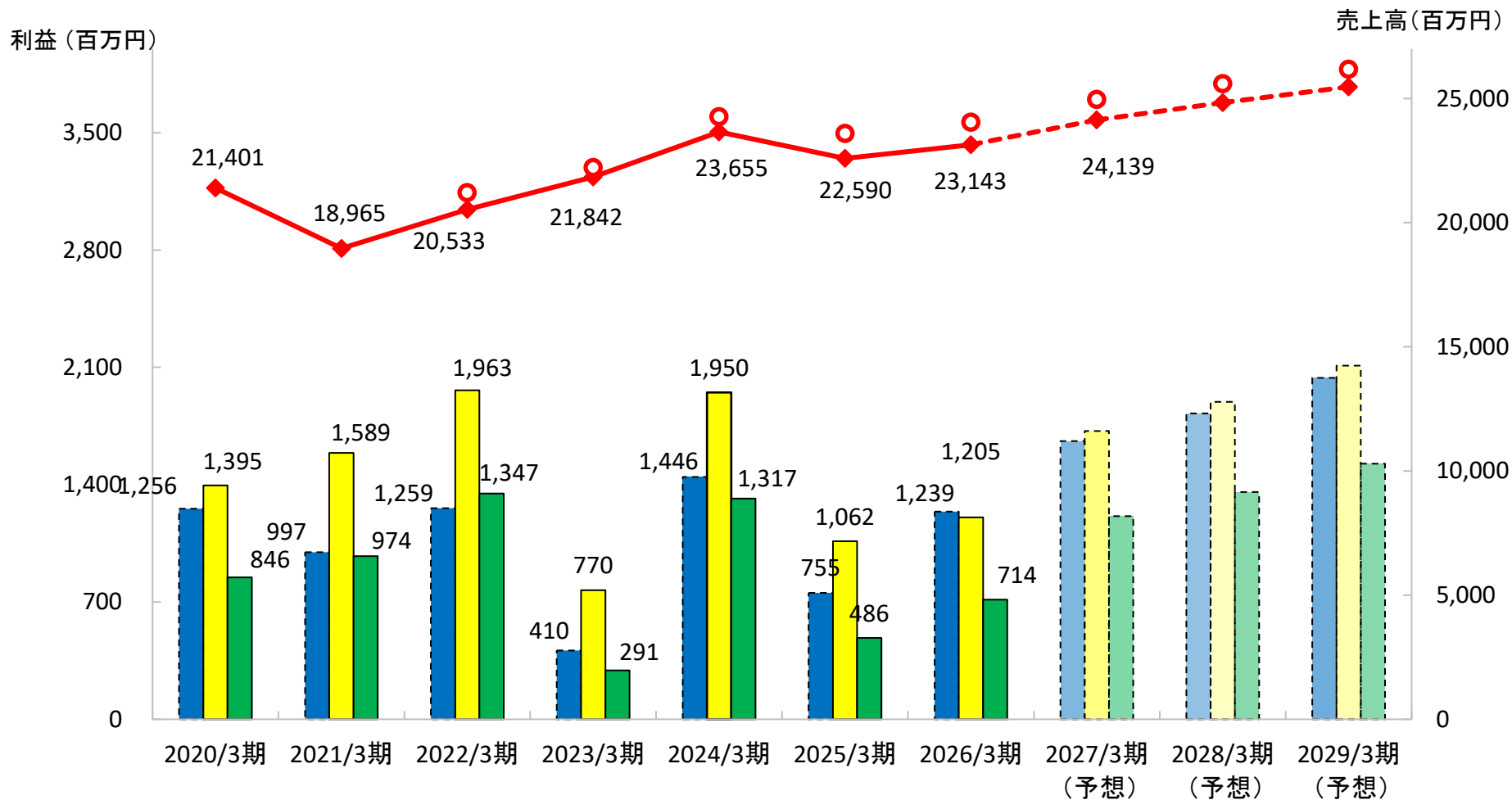
重点戦略

- 技術開発力の強化を推進
- スピードおよびコスト競争力を強化
- EV・電動化部品およびICE部品の受注拡大
- 新規事業の種まきと育成を推進
- 省エネ投資を推進し、CO₂削減と生産性向上を両立
- AI導入・教育推進による業務効率化を推進
- グループ会社のIATF認証取得を推進し、マネジメントシステムを強化
- グローバル調達・現地化による海外市場での競争力を強化

売上高・利益 推移 (中長期)

連結

■ 営業利益
 ■ 経常利益
 ■ *当期純利益
 ◆ 売上高
 ○ 収益認識基準変更前
 *親会社株主に帰属する



*百万円未満切捨

中期計画の前提・投資計画

連結

設定為替レート USD=155.0円、CAD=112.0円、THB=4.97円、IDR=0.0091円、CNY=22.42円

自動車生産台数予測

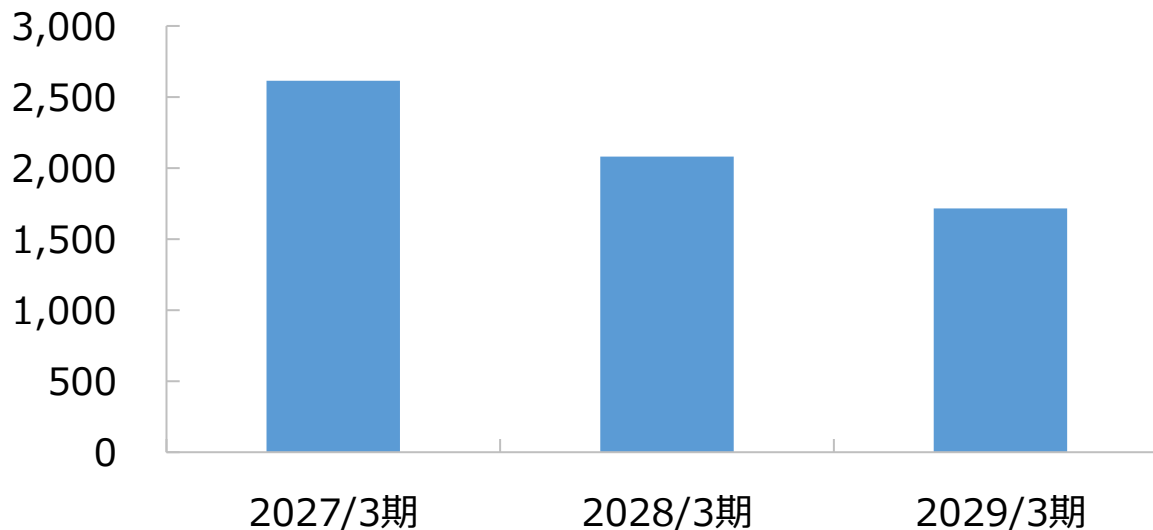
(日系メーカー)

(万台)	2027/3期	2028/3期	2029/3期
国内生産	847	859	872
グローバル計	2,536	2,572	2,615

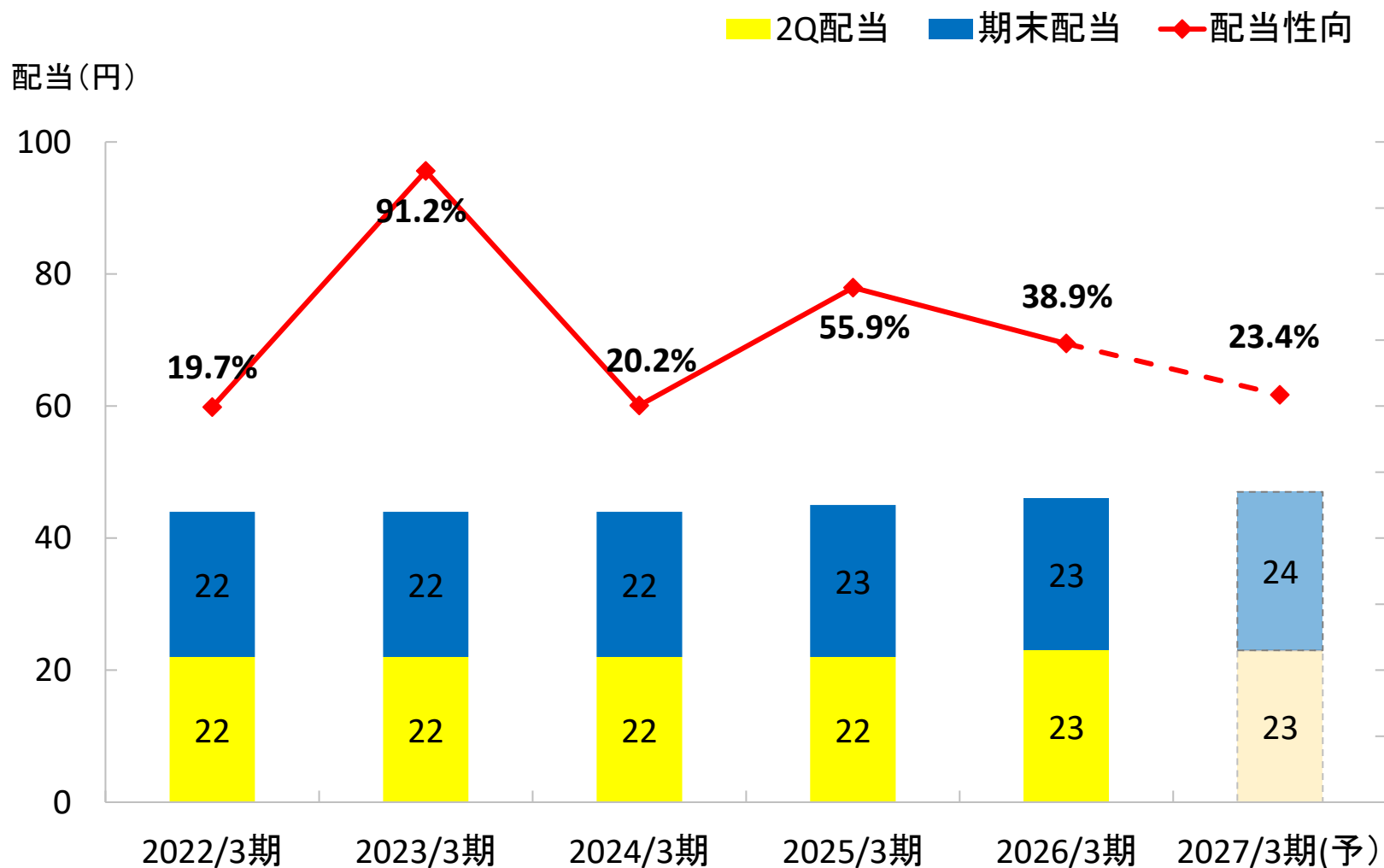
※台数予測の数値は2025年9月時点

投資計画

(百万円)



配当の状況



ご参考

当社トピックスの紹介

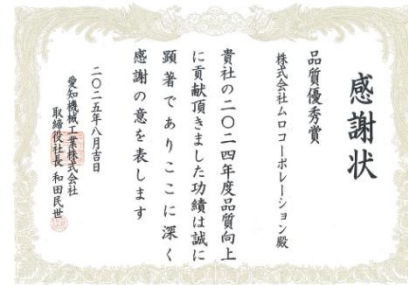
① 受賞 金属関連部品事業



- ◆ トヨタ自動車様：
トヨタ自動車様：品質管理優秀賞/
原価改善優良賞/VA推進優良賞
(2025年度)



- ◆ ダイハツ工業様：品質活動優秀職場賞
(2025年度)



- ◆ 愛知機械工業様：品質優秀賞
(2024年度)



- ◆ 武蔵精密工業様：品質優良賞
(2024年度)

②技術開発体制の強化

技術開発体制の強化と金型部門の再編

2026年4月より技術開発部を発足し、新技術の創出と営業活動への技術支援を両輪とする体制を整えました。また、いがり産業金型部門をムロコーポレーション金型部門に統合し、グループ全体での金型機能の効率化・最適化を推進します。

これにより、開発力と生産効率の双方を高め、競争力のあるものづくり体制を強化してまいります。



③EV関連分野

EV関連分野の拡大とBUSBAR（バスバー）新規量産立ち上げ

当社は、国内大手自動車メーカーの新型BEV（電気自動車）に搭載されるBUSBAR素材について、部品メーカー向けに供給を開始いたしました。BUSBARとは、大電流を分配・集約するための銅やアルミニウムからなる板状の導電部材です。



さらに、量産移行に向けた技術対応および品質確保に関する取り組みが高く評価され、同社より「新商品対応貢献賞（特別賞）」を受賞いたしました。今後も成長分野への対応を一層強化し、新たな事業機会の創出に取り組んでまいります



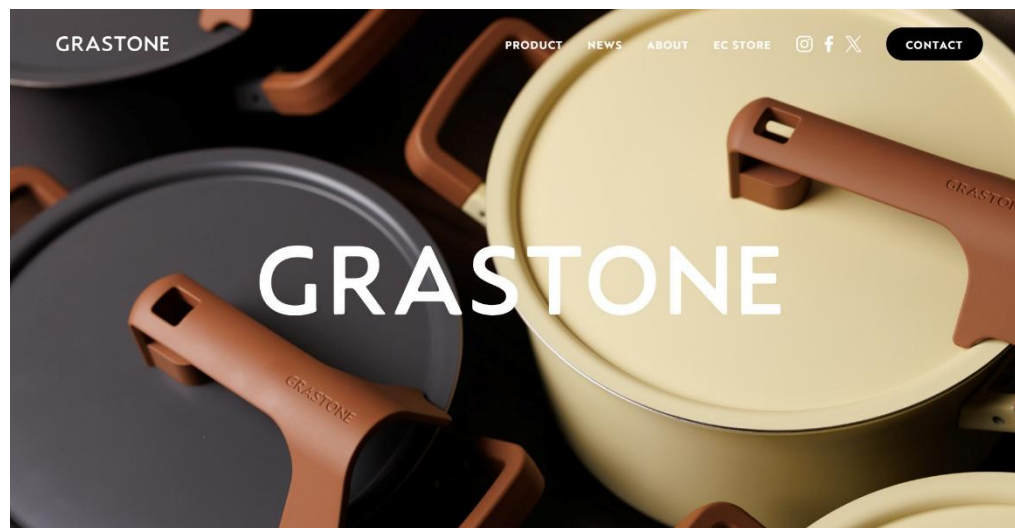
④ キッチンブランドプロジェクト

キッチンツールブランド「GRASTONE」が『GRASTONE POTT』を正式発売

2024年に実施したクラウドファンディングでの先行販売において目標金額を達成し製品化を実現した、新たなキッチンツールブランド『GRASTONE（グラストーン）』の鍋『GRASTONE POTT』を、2025年7月1日に正式発売しました。

GRASTONE POTTは、

- ① 铸铁鍋のように美味しいのに重くない
 - ② こびりつきにくく洗しやすい
 - ③ 立てられる蓋と熱くなりにくい持ち手
- といった特徴がある無水調理鍋で、美味しく調理ができるのにラクに使えるキッチンツールになります。



なお、キッチンツールブランド『GRASTONE（グラストーン）』は、当社の新規事業として展開しています。

⑤ムログループグリーンプロジェクト（MGGP）

環境対応製品「バンブーポット」の事業認定

当社のサステナブルブランドMGGPより販売している、竹とデンプンを主材料とした「バンブーポット」が、農林水産省の「**みどりの食料システム基盤確立事業**」において認定を受けました。

認定日：2026年2月6日
区分：3号認定（プラスチック削減）
本製品は、
プラスチック使用量の削減
生分解性素材による環境負荷低減
植付時の作業効率化



に貢献する製品であり、環境配慮型ビジネスとして展開を進めてまいります。

⑥地域貢献の取り組み

当社企画「ご安全に！うつのみやガチャ」4月1日より販売開始

当社企画の「ご安全に！うつのみやガチャ」をトチギマーケット ウツノミヤテラス店に設置し、4月1日より販売を開始しました。若い世代の日常にある“ガチャ”を入口に、地域のものづくり企業の存在に気軽に触れていただくことを目指しています。

本企画では、製造業の合言葉「ご安全に！」を切り口に、ものづくりへの関心と当社の取り組みへの理解を広げるプロモーション企画として展開しました。

“安全”の象徴である軍手をモチーフに、ものづくりを身近に感じていただくきっかけづくりを図っています。当社は今後も、地域企業としての強みを活かしながら、若い世代と地域のものづくりをつなぐ“入口”づくりに挑戦してまいります。



ご清聴ありがとうございました



お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ムロコーポレーション 管理本部

TEL: 028-667-7122

FAX: 028-667-8808

E-mail: ir@muro.co.jp

本資料取扱いに関するご注意

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境の変化等により、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。